

キャリア・コンサルティング技能検定2級 学科・実技（面接）試験 体験記

平成 27 年 9 月 7 日

2 級受検番号 N0

氏 名 T.O

1 試験に向けた準備の状況

いつ頃から始めたか

H27.1 月に標準レベル (CDA) 取得。勉強した内容を忘れないうちに...

H27.3~ 資格学校等で受講 H27.4 キックオフ講座受講 → 学科講座 → 論述講座

どのような内容を、どの程度行ったか

学科：赤本 2 回転 過去問 第 7 回~13 回+貴法人の模擬試験を 3 回転

準備に対する振り返り

赤本 2 回転→学科知識の整理

過去問→試験の独特の言い回しに慣れる事と、試験時間の感覚を身につける

2 試験当日の状況

試験日： 7 月 20 日 午前

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

実技学習の時間確保のため、学科終了からの日数が欲しかったので。

試験会場： 東京 試験官の性別：男性 2 人 事例番号： 4

【T.O さんからのメール】

せっかく涼しくなったと思ったら、またムシムシの残暑ですね。

先日は技能士の会の「振り返り講座」に参加させていただきありがとうございました。

特に” 終結までロープレ” は大変勉強になりました。

試験結果のはがきが待ちきれず、WEB 発表を先ほど見ました。ドキドキしながら.. 結果は、学科および実技両方合格でした!! 手元の受験番号とパソコン画面の受験番号を何度も確認しましたが間違いありません。

4 月の「キックオフ講座」から 5 月の「学科対策講座」および、「論述対策講座」と参加をさせていただきましたが、標準レベルとは勝手が違い、この先どうなるものやら.. と半べそ状態でした。

ただ結果がダメでも悔いは残さないようにできる事はあきらめずに、プロセスを積み上げていく事を心がけました。学科対策の線引き講座は、学科知識の整理があので 1 日でできました。

「キャリアの青本」と「キャリアの青プラス」は本当に良くまとまったテキストだとつくづく思いました。「キャリアの赤本」は、隙間時間に活用させていただいたのと、試験前 10 日位から知識の総仕上げの意

味で2回転させました。

青本と赤本があれば基本的には他のテキストはいらないので、あっちこっち探す手間が省け、非常に効率よく勉強できました。

過去問は第7回から13回+（木村先生）の「在宅模擬試験」を3回転させ、試験独特の言い回しや本番さながらの試験時間の感覚を身につけました。

とりあえずご報告まで。 本当に本当にありがとうございます。

3 試験の状況

① 導入部	ゆっくり、ゆったりを心掛けた。誰でも緊張はするので、ゆったりとした気持ちで、面接会場を見回し、ゆっくりとした口調でスタートする事で気分を落ち着かせるようにした。
② 基本的態度	相談者の”営業はイヤだ”という訴えをキャリア・コンサルタントとしてとにかく受け入れる事。”経験もしていないのに営業の何がわかる?”と忠告したい気持ちを感じながらも、”この人は、理由はどうあれ営業がイヤなのだ”という所をベースにおいて、特に面接前半は相手の話を、とにかく聴く事を心掛けた。
③ 関係構築	話してもらった内容を伝え返して、相談者と共有するようにした。特に現在の仕事のやりがい、相談者のリソース発揮につながっていたので、その部分に強く共感を示した。そこで相談者が笑顔になり、関係構築が深まった感じがした。
④ 問題把握	職業理解等の情報収集が全くできておらず、自分だけの思い込みで判断している。今の仕事のスタイルを営業でも活かせるのでは?と問いかけてもとにかく営業はイヤ、の一点張り。
⑤ 具体的展開	とりあえず内示の理由や異動時期を含めて上司と話をしてみる事を提案。話を聴く事によって、今より何か変わりそうか。部下の意見や考えを聞くことは上司の大切な仕事なので、ちゃんと話を聞いてくれると思いますよ、と CC 視点での提案。この提案に納得してもらい、上司と話してみるとコメント。終了。
⑥ 口頭試問の内容と回答	1 キャリア・コンサルタントとして良かった点と改善点で※私は最初2の質問の意図がわからず、試験官に確認をしました。的外れな答えを避けるためでしたが、わからなければ、ちゃんと聞いて OK だと思う。
これから受検する人へのアドバイス	
プロセスは人それぞれのやり方があるので、試験が始まったら自信を持って進めていいと思う。20分という限られた試験時間で、②～⑤を、どの様に展開して行くかを普段のロープレ学習の中で意識されてはどうか。最後まであきらめ、ご自分を信じて、臨んで欲しい。	